

第3回 日本運動器理学療法超音波フォーラム in ウェビナー

2022/3/6（日）9：00～17：00



事前登録制 （事前決算）※Peatix

先着900名 参加費；3000円

※COVID-19感染拡大の状況をふまえ、ウェビナーでの開催となりました。
2月1日から募集を開始いたします。

新着情報

2022.2.1 第3回日本運動器理学療法超音波フォーラムの募集を開始いたしました。

contact us

事務局
〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B
(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com
Tel：058-214-7308
mail：ukk501@yahoo.co.jp
URL：<http://ukk501.wixsite.com/undouki>

大会長挨拶



小柳 磨毅 (Koyanagi Maki)

大阪電気通信大学医療健康科学部

理学療法学科（四條畷キャンパス）

第3回運動器理学療法超音波フォーラム（大阪）の開催

ご挨拶

このたび、第3回運動器理学療法超音波フォーラムの代表世話人を拝命しました。何卒、よろしくお願い申し上げます。

運動器の構造と機能の可視化が、理学療法における客観的な評価と効果的な治療に有用であることは言を俟ちません。運動器の解像力が著しく進化し、動態観察が可能となった超音波画像診断装置（以下エコー）の活用は、理学療法の評価と治療を確実に向上させています。運動器に対するエコーは、関節運動や筋収縮に伴う骨指標の移動方向や量により、関節機能を客観的に評価し、皮膚と皮下の軟部組織とその動態を直視できます。これにより、皮膚と皮下組織、筋、筋膜、滑膜ひだ、脂肪組織、神経組織などの移動や形状変化から、過去には想像する他なかった、嵌頓や癒着を含む、さまざまな病態の観察が可能となりました。

理学療法士がエコーを武器として、新たな評価や運動療法、物理療法、補装具を大きく発展させています。今後ますます、医療や保健の領域で、エコーの重要性が高まることは疑いありません。所属する大学の教育現場でも、近年、学内に複数台のエコー機器を導入し、学生に対して少人数のグループ実習を実施しています。この実習は解剖学や生理学、運動学などの基礎科目の理解を深めるとともに、理学療法教育の重要な課題である、正確な触察技術の習得にも貢献しています。さらにエコーを用いて、Impingement testにおける肩関節腔の狭小化や、膝外反ストレステストにおけるMCL

テストに対する学生の理解は格段に深まっています。医療専門職の教育には、基本的な「知識の理解」と「技術の習得」、換言すれば「知っている」と「できる」の双方が必要ですが、学生教育においても、「エコー機器を使用した評価ができる」を、目標とする時期にきていると考えます。

第3回運動器理学療法超音波フォーラムは、「超音波による運動器理学療法の革新」をテーマに、大阪府茨木市にある大阪行岡医療大学を会場として、対面形式の開催を準備しています。コロナ禍で先が見えにくい時代ではありますが、運動器エコーと理学療法のトップランナーとともに有意義な情報と時間を共有し、視界が大きく広がることを期待しています。

大阪伊丹空港や新大阪駅からのアクセスが良い会場で、みなさまのご参加を心からお待ちしております。

contact us

事務局

〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B
(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com

Tel: 058-214-7308

mail: ukk501@yahoo.co.jp

URL: <http://ukk501.wixsite.com/undouki>



TOP





第3回 日本運動器理学療法超音波フォーラム プログラム

令和4年3月6日（日）

9:00～ 開式の辞 大阪電気通信大学 小柳磨毅 先生

9:05～10:20 シンポジウム1「 肩・股関節 」
座長：東北大学病院 村木孝行先生

演題 1 「肩3rd肢位における骨頭の前後動態評価」

行岡病院 鳴尾 龍一郎 先生

演題 2 「末梢神経を基軸に考える肩関節拘縮治療」

名古屋スポーツクリニック 中川 宏樹 先生

演題 3 「投球障害肩に対する3方向Scapula assistance testと超音波」

江戸川病院・メディカルベース新小岩 小林 弘幸 先生

演題 4 「関節運動に伴う股関節内転筋群の力学的な特性評価」

札幌医科大学大学院 加藤 拓也 先生

演題 5 「超音波で見る股関節不安定性とその意義」

札幌医科大学大学院 河合 誠 先生



10:30～11:20 特別講演 1

「末梢神経で考える新しい運動器診療～理学療法の盲点を探る～」

講師：横浜市立大学 医学部研究科 難治性疼痛スポーツ外来

宮武 和馬 先生

座長：運動器機能解剖研究所 林 典雄 先生

11:20～12:20 昼休み 業者PRビデオ

12:20～13:20 シンポジウム2 「 組織弾性 」

座長：札幌医科大学 谷口圭吾 先生

演題 1 「膝屈曲角が膝蓋腱の組織弾性に及ぼす影響」

関西福祉科学大学 三谷 保弘 先生

演題 2 「鏡視下Bankart修復術後肩における1st外旋制限と烏口上腕靱帯の関係」

行岡病院 麻田昌彦 先生

演題 3 「肩内旋運動中の肩後方組織の弾性変化」

八王子スポーツ整形外科 相馬 章吾 先生

演題 4 「OAの膝蓋下脂肪体の硬度計測と組織酸素計測」

森ノ宮医療大学インクルーシブ医科学研究所 堤 真大 先生

13:30～14:20

特別講演2 「超音波検査からみる変形性膝関節症の病期」

講師：鳥取大学医学部 整形外科

榎田 誠 先生

座長：大阪電気通信大学 小柳磨毅 先生

14:30～15:30 シンポジウム3 「 神経・血行 」

座長：文京学院大学 福井 勉 先生

演題 1 「末梢神経障害に対する超音波評価と睡眠の関連を科学的に」

ぱくペインクリニック 岡本 光司 先生

演題2「大学野球選手における腕神経叢牽引刺激に伴う腋窩動脈血流速度の検討」
名古屋スポーツクリニック 二村 涼 先生

演題3「末梢神経から考える肩肘の運動機能障害」
北里大学医療衛生学部 河端 将司 先生

演題4「不良姿勢が脊髄の血行動態に与える影響」
慶友整形外科病院 井上 彰 先生

15:40～16:40 シンポジウム4「 評価・リハビリテーション 」
座長：中部学院大学 浅野昭裕 先生

演題 1「ジュニア期バスケットボール選手に対する超音波を用いたメディカルチ
Nクリニック 沼澤 俊 先生

演題 2「トラッキング手法を用いた動態解析評価」
名古屋スポーツクリニック 二村 英憲 先生

演題 3「手の狭窄性腱鞘炎に対してエコーを活用したリハビリテーション」
西川整形外科 杉浦 史郎 先生

演題 4「エコーだからこそ見える、体幹機能評価-体幹筋厚と下肢障害の関係-」
メディカルプラザ市川駅 村本 勇貴 先生

16:40～ 閉会の挨拶 第4回担当世話人 札幌医科大学 谷口圭吾 先生

contact us

事務局
〒500-8442 岐阜県岐阜市正法寺町30 正法寺ビル5-B
(株)運動器機能解剖学研究所

info@mysite.com
Tel: 058-214-7308
mail: ukk501@yahoo.co.jp
URL: <http://ukk501.wixsite.com/undouki>





TOP

